

# 2022年6月度の発明発表会と食事会

発表会： 5月15日 13時～16時

参加者： 5名

## 1、「最新セイフティーカッターの現状」光広氏

先日までに大手の販売会社4社（アイリスオーヤマ、イトーヨーカ堂、ニトリ、無印良品、）に売り込みメールを送った。その中で2社は断ってきたが、ニトリは、工業所有権を取得した物であれば評価するので その権利がある特許の控えとそのほかの資料を郵送するよう連絡があったので先週送付した。又、広島市内にある通販の山貴にもメールを送ったが返答はなかった。

現在使用している切断刃は市販品のもので、刃の角度は通常刃の24度と鋭角刃の15度2種類があり、15度の方が各段に切れ味が良いためこちらを使用するようにした。

（耐久性は24度の方が優れているが、15度でも毎日使ってるが、2か月程度は切れ味が落ちないので切れ味を優先することにした。）

## 2、「セイフティーカッター「おきスパ」の動画」光広

題は「あなたは片手でこれらの袋をカット出来ますか？」でこのタイトルと色々な食品の袋が出てきて次にカウントダウンで10～0まで出てその後「おきスパ」の全周動画が出てきて「私はこれでカットします。」のテキストが挿入曲とともに出てカットシーンが出て終わる。

1分弱の動画であるが、挿入曲が邪魔だし、カウントが10秒も長いし、袋のカットシーンはカットの瞬間が良く見えないなど出来が良くないので修正することにした。

## 3、「発明のテーマについて」全員

発明する前に発明のテーマについてどのようなものがあるのか？

全く新しい物について特許は取れそうだが、製造については新しく設備が必要で販売ルートも新たに開拓する必要があり商品化するまでには相当な労力や資金が必要でヒットすれば大きいのが難しい。

又、少し新しいものについては、特許ではなく実用新案で登録し企業への売り込みを進めるが、どの程度の物が受け入れられるかは数出してみないとわからない。

又、めったに使わないようなものより、日常的に使うようなものの方がテーマとしてはよさそう。

いずれにしても、発明のテーマの選択はその発明が商品化できるかどうかにかかってくるので、大変に重要であることは確かだ。

## 4、「ライン、などのSNSの使い方について」日高氏

ラインなどでは、一度に大量に連絡できることと、相手はその連絡を見たかどうかの確認ができるなどのメリットについて説明してもらった。

食事会 17時～19時

場所：ゆずの小町袋町店 3名参加

新しいメニュー蒸し餃子などがありゆずビールもおいしい。いろいろな失敗談も参考になり、今となっては面白い話。

